

# 株父 今宮神社

奉賛会だより

(平成二十六年正月号)



爾後、幹事の皆様にもご指導お力添えを頂きながら、少しずつではございますが、私が常々思っている「地域と共に歩む神社」としての一歩を踏み出すことができました。昨年末には、中町から実に百名近くの方が奉賛会にご参加いたしました。今後の活動の下地も整いました。

平成二十六年年頭にあたり、当社本殿にて、新しい年を祝ぐ「歳旦祭」をご奉仕申し上げ、

今年一年の皆様のご健康と益々のご発展を祈願いたしました。今年はこの後、新しき春の到来を喜ぶ「立春祭」、明治十一年「秩父大火」の思い起こし防災の決意とともに火伏の神々に祈りを捧げる「三社祭」、武甲山の龍神さまを里にお迎えして感謝を捧げる「龍神祭」、秩父神社の御田植祭にその龍神さまの御恵をお分けする「水分祭」など、春のお祭りが続きます。六月には、

この地に神仏両界を繋ぐ尊い龍神さまを祀った開祖役行者をお祀りする「役尊神祭」(行者祭)、そして水無月晦の夏越大祓。秋には、そして当社の主祭神であるイザナギ、イザナミ、スサノヲの三神と宮中八神に感謝の誠を捧げる「例大祭」へと続きます。皆様方にもぜひご参列いたただければ幸甚に存じます。

最後に『氏子崇敬者の心得三ヵ条』を期して年頭のご挨拶といたします。

一、鎮守の杜は心の故郷 みんな挙つて祭に参加しよう。

二、家庭こそ神祭の源 家族揃つて神棚に手を合わせよう

三、家族の幸せは先祖の喜び 忌服を被つて前向きに生きよう。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

年頭のご挨拶



今宮神社 宮司 塩 谷 崇 之

甲午の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は当神社に格別の御尊神と御篤志を賜りまして誠にありがとうございます。

思えば二年前、宮司を拝命するにあたり、

日頃よりお世話になつてゐる皆様方のご厚意により「新宮司の就任を祝う会」を盛大に開催していただき、それにあわせて、地元中町を中心とする「今宮神社奉賛会」が産声を上げました。

中町奉賛会 会長 浅賀 克彦

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年は、伊勢神宮の式年遷宮・出雲大社の六

十年遷宮と国家的慶事が執り行はれました。また、今宮神社においても、年中行事はもとより、

去る十月二十七日には、中町商榮会の皆様のご尽力により『中町イルミナイト』(今宮神社)が催され、境内が幽玄の世界に導かれました。

皆様方におかれましては、この佳き年に、今宮神社奉賛会にご賛同いただき、誠に有難うございました。

平成二十五年度の行事報告

◎一月一日(祝) 歳旦祭

◎二月四日(月) 立春祭



◎三月二十日(祝) 三社祭

「今宮神社御璽」  
「八大龍王神璽」  
「役尊神々璽」



◎四月四日(木) 龍神祭・水分祭

中町会・東町会及び秩父市消防団による火難除け祈願の祭典。1878年の秩父大火は、秩父の市街約4万坪447棟を焼け尽くしました。二度とこのような災禍の起こらないよう、以後130余年にわたり、地元消防団を中心に、撰社に祀られる火伏の神様である秋葉大神・古峯大神・三峯大神に防災を祈願しております。現時点で、浅賀克彦会長以下、中町会会員九十二名に御奉賛いただいております。



午前中、龍神木前斎場にて「龍神祭」が盛大に斎行されました。同日午後、秩父神社より神職・伶人・作家老・神部ら御一行が今宮神社に水乞いに参られ、当社斎場にて「水分神事」が執り行われました。秩父神社ご一行は、今宮神社から授与された「水幣」を秩父神社に持ち帰り、境内にて御田植神事が執り行われました。



授与された水幣を奉じて秩父神社へ戻る作家老と神部

